

平成 20 年 7 月 25 日

(ご参考)

住友信託銀行株式会社

「60 歳のラブレター」映画化決定について

この度、住友信託銀行（社長 常陰 均）が平成 12 年より実施してきましたセカンドライフ応援企画である「60 歳のラブレター」を原案としたラブストーリーが映画化されることが決定いたしました。

長年連れ添った夫婦が、なかなか口に出せない思いや、お互いの感謝の気持ちを一枚のはがきに綴ったラブレター。日本中の夫婦から寄せられ、大きな反響と共感をいただいてまいりましたが、過去 8 回を通じて寄せられた 86,441 通にもおよぶラブレターのエッセンスを脚本に吹き込みました。

大手建設会社の定年退職を目前に控え、第 2 の人生をはじめようとする夫と、専業主婦として家族に尽くしてきた妻。青春時代にビートルズを謳歌し、今は魚屋を営む夫婦。長年連れ添った妻に先立たれ、娘と 2 人で暮らす医師、そして翻訳家として仕事だけに打ち込んできた独身女性。3 組の男女の物語をたくみに交差させながら、彼らが長年歩んできた人生とそれぞれの“いま”、そしてこれからを描き出します。

団塊世代をはじめとする中高年はもちろん、理想の夫婦像を求める若い世代の男女にもアピールできる映画として当社は協力してまいります。

「60 歳のラブレター」とは？

平成 12 年からはじまった住友信託銀行によるセカンドライフの応援企画で、現在まで 8 回募集し、累計応募数 86,441 通を数えます。

毎年 11 月 22 日（「いい夫婦の日」）から、人生の大半を連れ添った“夫から妻へ”“妻から夫へ”、感謝の気持ちや今だからいえる素直な一言などをはがき一枚に綴るというテーマで一般公募します。

発表年の秋に受賞作品を含めた約 160 編をまとめ、「60 歳のラブレター」（NHK 出版）として出版化されています。（現在まで 7 冊発行、累計発行数 405,000 部）また印税は住友信託銀行が全額寄付しています。

上記寄付をはじめ、各支店でラブレター朗読会・ラブレターロビー展等を通し、「60 歳のラブレター」は住友信託銀行の社会貢献活動の柱となっています。

以上

(別紙)

映画「60歳のラブレター(仮)」内容

- <タイトル> 「60歳のラブレター(仮)」
- <原 案> 書籍:「60歳のラブレター」 NHK 出版
- <作品仕様> 35 mmフィルム 120分程度
- <脚 本> 古沢良太 (代表作「ALWAYS 三丁目の夕日」)
- <監 督> 深川栄洋 (代表作「狼少女」「同級生」)
- <キャスト> 橘 孝平……………中村雅俊
橘(小山)ちひろ…原田美枝子
佐伯静夫…………井上順
長谷部麗子…………戸田恵子
松山正彦…………イッセー尾形
松山光江…………綾戸智恵
- <撮影時期> 平成20年7月～8月
- <完成時期> 平成20年冬予定
- <公開時期> 平成21年(上半期)全国公開予定
- <配 給> 松竹
- <公開形態> 全国200館規模(予定)
- <協 力> 住友信託銀行
- <製作委員会> テレビ東京、博報堂DYメディアパートナーズ
松竹、大広、ビデオプランニング
- <制作会社> ビデオプランニング